

平成三十一年「花のまわりみち」

川柳入選句

小島 蘭幸 選

天地人・秀逸

「天位」

平成のフィナーレへ満開の桜

若山 宗彦

(評) 平成から令和へ、満開の桜も新元号「令和」を祝福しています。同想句が多かった中で、この句はフィナーレの措辞が巧みです。

「地位」

感謝状さくらを植えた先人に

有馬 けいこ

(評) 花のまわりみちの美しい桜、多くの先人の努力、情熱があったからこそなのです。感謝状に納得です。

「人位」

仲直りしたくて歩くまわり道

熊谷 純

(評) まわりみちの桜に見守られて、きっと仲直りすることができたでしょう。

「秀逸」(五句)

花の奥友の笑顔がかくれんぼ

丸本梨愛(梨月)

(評) 毎年楽しみにしていた、花のまわりみち、そこにはいつも友の笑顔がありました。今年は……。

桜満開子供の人生に幸あらん

大下龍司

(評) 満開の桜に、子供達の人生を重ねているのです。子供の人生に幸を<sub>二</sub>みん<sub>一</sub>なの願いです。

ベビーカーに花びらを乗せ初花見

豊田芳香

(評) ベビーカーと初花見が巧く響き合っています。赤ちゃんの笑顔が見えるようです。

花明りみな十歳は若返り

山口宏子

(評) 花明りの中で、みんなの明るい声と、笑顔が弾けます。

桜見て仕事のストレス消えました

清水ひかる

(評) 花のまわりみちの美しい桜に今年も多くの人が癒されました。私もその一人です。

佳作

(十八句)

桜咲く新生活のスタートだ

三宅 雅博

(マサヒロ0612)

紅笠に見とれし我は童女なり

橋本 正子

満開の桜の下で愛誓う

岡田 康志

逢いたいな関山のようなお母さん

清水 さつき

琴の音と桜コラボのまわりみち

齋藤 千恵美

かんざんにさわったよはなのまわりみち

はまべ ゆうと

太陽いっぱい夢いっぱい花のまわり道

藤岡 哲夫

車椅子母の笑顔スマホ撮る

松井 哲夫

紅笠に出合えた八十路手を合わす

吉川 美佐子

桜道行き交う人は笑顔なり

錦邊 典子

婚活は桜の下で成就する

岡崎 秀俊

陽を浴びて輝く八重の女王様

山田 信子(コスモス)

アルバムのラストに桜桜桜

山下 天平

ひとときの癒し求めてまわりみち

八藤 秋登

花が笑む全てがゆっくりゆっくりと

成瀬 海斗

回り道孫と並んでハイチーズ

杉岡美智子(ふじばかま)

亡き母に見せたかったよ八重桜

木川 美智子

さくらら見て雪見だいふく買いに行き

村上 中(あたる)

選者吟

紅笠に母を重ねている雨よ

小島 蘭 幸